

■「仙台市図書館利用者懇談会」（平成 28 年度）を実施しました。

日頃、図書館を利用いただいている方々から様々な意見を直接伺い、今後の図書館サービスの向上に活かせるよう、5 地区館、2 分館全てで利用者懇談会を実施しました。



（市民図書館での様子）

《実施状況》

館名	実施日時、会場 参加者
市民図書館	平成 29 年 1 月 29 日(土)10 時 30 分～12 時 せんだいメディアテーク 7 階会議室 個人利用者 4 名、学校図書事務員 1 名、社会学級運営委員 1 名、ブックトークボランティア 1 名、図書館ボランティア 1 名、市民図書館職員 5 名 (合計 13 名)
泉図書館	平成 29 年 2 月 4 日(土)13 時 30 分～15 時 2 階大研修室 読み聞かせボランティア 1 名、修理ボランティア 1 名、地域文庫 1 名、小学校 1 名、市民センター1 名、子育て支援施設 1 名、泉図書館職員 4 名 (合計 10 名)

館名	実施日時、会場 参加者
太白図書館	平成 29 年 2 月 9 日(木)13 時～15 時 地下 1 階 視聴覚室 個人利用者 1 名、個人利用者（配架ボランティア）1 名、個人利用者（修理ボランティア）2 名、読み聞かせボランティア 2 名、対面朗読ボランティア 1 名、地域文庫 1 名、小学校 1 名、太白図書館職員 5 名 (合計 14 名)
宮城野図書館	平成 29 年 2 月 7 日(火)13 時 30 分～15 時 視聴覚室 個人利用者 1 名、ボランティア団体 1 名、小学校 1 名、児童館 1 名、区中央市民センター2 名、区文化センター1 名、宮城野図書館職員 4 名 (合計 11 名)
若林図書館	平成 29 年 1 月 24 日(火)13 時 30 分～15 時 2 階視聴覚室 個人利用者 2 名、ボランティア団体 1 名、図書館応援団 1 名、区文化センター1 名、区中央市民センター1 名、区中央児童館 1 名、若林図書館職員 3 名、指定管理者 1 名 (合計 11 名) * 予定していた区内小学校からの参加者は欠席
広瀬図書館	平成 29 年 2 月 8 日(水)13 時 30 分～15 時 広瀬市民センター 2 階会議室 個人利用者 3 名、ボランティア団体 1 名、広瀬図書館職員 4 名 (合計 8 名) * 予定していた個人利用者 1 名、ボランティア団体 1 名、区内小学校からの参加者は欠席
榴岡図書館	平成 29 年 2 月 10 日(金)13 時 30 分～15 時 5 階会議室 個人利用者 1 名、学校関係者 2 名、市生涯学習支援センター1 名、東口エリアマネジメント協議会 1 名、小田原ことりのうた 1 名、榴岡市民センター1 名、榴岡図書館職員 5 名 (合計 12 名) * 予定していた榴岡児童館からの参加者は欠席

《懇談会の内容》

- ・ 図書館から平成 28 年度の図書館事業の概要と取り組み状況を説明、出席者全員から意見や要望をもらい、説明や回答を行いました。

《出席者からの主な意見》

【市民図書館】

- ・ 子どもの本は分かりやすく纏められている。もっと大人も利用できるようにしたら良いと思う。
- ・ 図書館は、例えば発達障害の子どもなどにも、成長を促す効果がある。
- ・ 子どもが返却の際、一言添えられると良い。きっと次につながると思う。
- ・ かつての人気作家の本など、すでに地下書庫に行ってしまった本をテーマ展示してはどうか。
- ・ 「図書館の自由に関する宣言」をもっと見えやすいところに掲示して欲しい。
- ・ 利用者カードの作る際の手続きが面倒。実家が他県の場合、現住所の確認が難しい。



(地下書庫見学の様子)

【泉図書館】

- ・ 支援パックをもっと増やしてほしい。小道具はパックではなく個別で貸出してほしい。
- ・ 学校貸出は便利だが収受が大変。図書館と学校の流通ルートを確立してほしい。
- ・ 放課後に教室で子ども対象の司書研修をしてもらえないか。子どもたちの専門性を高めたい。
- ・ 泉図書館の場所が分からない。歩道や駐車場などに案内板をつけてほしい。
- ・ 視聴スペースが少ないのではないか。AV資料も少なく、最近是利用する機会が少ないビデオも多く所蔵されているようだ。DVDをもっと増やしてほしい。
- ・ 団体貸出利用者カードを更新する際、複数名の免許証や保険証の提示を求められる。簡略化できないか。
- ・ ストーリーテリングの認知度を高めるため、図書館から学校にストーリーテリングのできるボランティア団体があることを周知してほしい。



【太白図書館】

- ・ 1月開催の「発達障害」に関する市民講座は大変参考になった。とくに関連本リストや関連記事が掲載された雑誌の紹介が非常に参考になった。
- ・ 本や紙芝居の表紙や絵など肝心な場所にバーコードが貼られている場合があり、非常に気になる。
- ・ レファレンス（調べもの）サービスについて、国会図書館まで調べてくれていたことに感銘を受けた。
- ・ 修理が必要な本の状態が、非常に悪い。年に1～2回、1階フロアで本の修理のパフォーマンス（本修理の様子を自由に見てもらおう）をしてはどうか。
- ・ インターネットによる予約や貸出期間延長ができることを知らない人が多い。またデータベース検索（県のシステム）は便利だが、あまり知られていない。



【宮城野図書館】

- ・ 新聞をめくる音は、様々な方が利用する公共図書館であることを認識して周りの方に寛容になって欲しい。
- ・ 貸出期間の延長については、「自分が読み切れる範囲」で借りれば良い。また図書館には同じ本をたくさん揃えるより、色々な本を置いてもらいたい。
- ・ ボランティア団体が高齢化して存続が危ぶまれる。「養成講座」を行い、活躍できる地域の方を増やして欲しい。
- ・ 正月の福袋のイベントは良かった。しかし、以前に比べ、図書館のイベントが少ない。
- ・ 子ども達に来てもらうには「とっつきやすさ」、「入りやすさ」が大切。図書館もそういう空間づくりをすると良い。



【若林図書館】

- ・ 現在の高い司書率をこのまま下げずにいて欲しい。カウンターでの対応も確実に良くなっている。
- ・ 新寺こみち市で開催したヤギさんお話会のような今までの図書館から少し踏み出したことをやって欲しい。
- ・ 指定管理者になり窓口もすぐに対応してくれて気持ち良い。以前に比べ本棚にも余裕ができ、配架しやすい。
- ・ 子どもたちに本の楽しさを伝えるため、低学年向きビブリオバトルや勉強スペースの確保、ブックカバーやしおり作り等、図書館と連携できると良い。



【広瀬図書館】

- ・ ボランティアを育成する講座が欲しい。その際、市民センターなどと共催すると良い。
- ・ 学校からブックトークは保護者も観覧できることを伝えるようお願いして欲しい。
- ・ 夏休みなど、科学館との連携や読書感想文などに対応する講座などがあると良い。
- ・ 保育園や幼稚園などの年間行事の中に、図書館の事業を組み込んでもらえると良い。
- ・ 広瀬文化センターのロビーにラックを出すなどして、赤ちゃん連れの母親が気兼ねなく本を選べるようにしても良いのではないかな。
- ・ 幼児・児童教育に力を入れていくなど、広瀬図書館として柱を持つことが大切だと思う。
- ・ 常設のカウンターは無くても、レファレンスサービスを受けられることのPRが十分でない。
- ・ 本を大切にすることを育てる掲示などが必要。汚損資料が目につく機会を増やしていけば、多少なりとも気を付けるようになるのではないかな。



【榴岡図書館】

- ・ 「たなばたさろん」で、館長作成の顔出しパネルが子どもたちに好評だった。来年もお願いしたい。
- ・ 以前、「みやぎのまつり」でやっていた「ビブリオバトル」をまたやって欲しい。
- ・ 乗り物に乗るときに不便なので、紙芝居の袋は縦長の方が良い。
- ・ 子どもが本を読みたくなる仕掛けとして、ブックトークなど、施設側が出向いていくことが重要。本は表紙が大切。可愛かったり、綺麗だったりすれば、手に取り、読書のきっかけになる。
- ・ 保育園では、子どもたちの体験や学びのため、色々なところを訪問しているが、図書館にも足を運びたい。



(館内見学の様子)